

プロジェクト型ジョブによる地域活性化拠点「海のうつわ」構想の作成（愛媛県愛南町）

取組概要

B & G財団の「2023年先進的海洋センター整備事業」に企画提案を申請するため、庁内に組織横断的プロジェクトチームを構成し、約半年の短期集中で地域活性化施設「海のうつわ」の整備方策を作成し、提出後の書類審査・現地審査等に対応した。

取組の効果

プロジェクトチーム方式による組織間連携と課題解決策の提案が、行政サービスの向上につながるものとして評価され、今後の施策検討時の前例として、柔軟な組織体制づくりに寄与している。

創意・工夫した点

新たな業務となる以上、職員の負担をマネジメントしつつ、必要に応じて外部の専門家の協力も仰いだ。また、「海業」という新たな概念と、従来のマリンレジャー・水産業など町の地域資源を掛け合わせることで、類例のない新たな取組を創出した。

他団体へのアドバイス

プロジェクト型ジョブに取り組むことは、地域課題の早期解決につながるばかりではなく、新たな課題の発掘と対応による住民サービスの向上、若手職員の士気を高めることにも寄与するので、恐れずに積極的なチャレンジをオススメする。

人口 19,038人 (R6.1.1現在)

担当 水産課海業推進室

